

サタデープラン文化芸能発表会

がんばった成果を披露

2月11日、サタデープラン文化芸能発表会が文化会館で行われました。サタデープランでは、小・中学生を対象にスポーツや文化などの講座を実施しています。この日は、生け花や茶道、将棋、日本舞踊など、文化や芸能教室の受講生が日ごろの成果を発表。会議室や伝想庵では、茶道教室の受講生が訪れた人たちを心のこもった一杯でもてなしていました。小ホールでは、管弦楽団や詩吟、津軽三味線、ハーモニカなどの演奏が披露され、発表が終わるたびに客席から大きな拍手が送られていました。



国際交流フェスタ2017

国境を越えて理解を深めました



国際交流フェスタ2017が3月5日、総合福祉センターで行われました。日本をはじめ中国やインドネシアなど、さまざまな国籍の方が集まり、英語のクイズや世界の絵本の読み聞かせなど多彩なイベントを楽しみました。世界のお茶の飲み比べでは、世界各国のお茶の説明を受け、インドのチャイなどを堪能。抹茶の接待では、「西尾の抹茶」を味わいながら、茶道の文化に触れました。近くの席の人と自分の国の文化などを話し、お互いの交流と理解を深めました。

子ども大学の受講生がお点前を披露

茶道を通じておもてなしの心を学ぶ

子ども大学講座「レッツ茶道」の最終回（全15回）が3月4日、一色町公民館フェスティバルのイベント「子ども茶会」として、別館の茶室「倶楽地庵」で行われました。小学4～6年生の受講生6人が一般のお客さんを抹茶でおもてなし。丁寧な言葉遣いでお客さんを茶室に案内した後、真剣な面持ちで抹茶を点てたり、菓子や抹茶のお運びをしたりと、今まで教わった作法を披露し、「緊張したけど、上手にできた」とうれしそうでした。子ども大学講座では引き続き、茶道の精神を子どもたちに伝えていきます。



第2回西尾♪絵巻

縁あるアーティストたちが集結



和楽器とダンス、朗読劇のコラボレーション「西尾♪（おと）絵巻」が2月12日、文化会館で行われました。第1部はSUGI-Jさんのダンスと山田純平さんの和太鼓によるスペシャルパフォーマンス。第2部はアナウンサー沢朋宏さんの朗読による音楽劇「郷土の偉人・岩瀬弥助物語」が繰り広げられました。フィナーレには、花ノ木小ダンスクラブ、三和小和太鼓部、鶴城中コーラス部、平坂中合唱部の皆さんと全ての出演者が登場し、観客から大きな拍手が送られていました。



鳥羽の火祭り

伝 統を受け継ぐ天下の奇祭

1200年前から伝わる国指定重要無形民俗文化財「鳥羽の火祭り」が2月12日、鳥羽神明社で行われました。昼間は鳥羽海岸で「みそぎ」が営まれ、神男2人と奉仕者約120人が海へ入り身を清めました。夜になると、巨大なすずみの中から神木と十二縄を「福地」と「乾地」のどちらが早く取り出すかを競い合いました。ネコと呼ばれる奉仕者たちが燃え盛る炎に向かっていく勇敢な姿に、観客から歓声やどよめきが沸き起こっていました。



第4回尾崎士郎賞表彰式

尾 崎士郎の思いを受け継いで



第4回尾崎士郎賞の表彰式が2月19日、吉良図書館で開催されました。「尾崎士郎賞」は吉良町出身の作家・尾崎士郎の没後50周年を記念して創設された作文・エッセイの賞。今年も市内をはじめ、全国から作品の応募がありました。全作品4,230点の中から、最優秀賞に水野智富美さん（広島県三原市）の「尾崎と酒と」が、優秀賞に田中大翔さん（平坂中学校3年）の「命の行方」が選ばれました。表彰後、最優秀賞の作品が朗読され、会場の受賞者・関係者は聞き入っていました。

第5回にしがまシーサイドウォーク

西 浦半島をぐるっと巡る

名鉄西尾・蒲郡線の利用促進を図ろうと第5回にしがまシーサイドウォークが3月5日に行われました。今年のコースは西浦駅を出発して、西浦半島の海岸線をぐるっと巡り、東幡豆駅に至る約12.3kmのコース。初春の陽気に誘われて、多くの参加者が西浦駅に降り立ち、南に向かって歩いて行きました。半島の南端からは波が寄せる橋田鼻・松島遊歩道を進み、佐久島、梶島、沖島、前島といった島々がなす、普段とは違う方角からの景色に目を細めていました。



ニシオンナーレ

食 と芸術の祭典が開幕



「食と芸術の祭典 ニシオンナーレ」のキックオフイベント「スイーツウォーク」が2月11日に行われました。約250人が参加し、稲荷山茶園公園などの市内の名所を歩いて回りながら、「西尾の抹茶」を使ったスイーツなどを堪能。参加者はお腹も心も満たされました。2月25日には俳優の宮田大樹さんと西尾を巡る女性限定のイベントが開催されました。参加者は宮田さんの解説で街を散策したほか、みずいろベンチの塗装や抹茶スイーツ・抹茶なべの試食、竹ランタンの製作などを行い、西尾の食や文化、芸術を楽しみました。